



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社NSD

コード番号 9759 URL <http://www.nsd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 社長室長 (氏名) 近藤 潔

TEL 03-3257-1250

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,594	12.1	2,243	13.1	2,340	14.2	1,072	△3.3
25年3月期第2四半期	17,486	4.3	1,983	46.1	2,050	30.9	1,108	56.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,232百万円 (33.8%) 25年3月期第2四半期 920百万円 (99.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	25.78	25.77
25年3月期第2四半期	26.44	26.43

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	47,191	41,421	87.2
25年3月期	47,317	42,231	88.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 41,137百万円 25年3月期 41,940百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	9.2	4,700	4.8	4,900	8.1	2,700	10.0	65.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結会計期間において、株式会社NSDビジネスイノベーションを、また、当第2四半期連結会計期間において、当社全額出資の中国現地法人である北京仁本新動科技有限公司が日本国内に、日本RXテクノロジー株式会社を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 有 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当するものであります。

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	48,172,160 株	25年3月期	48,172,160 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	6,752,481 株	25年3月期	5,949,301 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	41,598,982 株	25年3月期2Q	41,945,832 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式を含んでおります。(26年3月期2Q 141,500株、25年3月期 283,000株)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

・四半期決算補足説明資料は、平成25年11月1日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、新興国の成長鈍化や米国の財政問題などのリスク要因はあったものの、新政権による経済対策や金融政策などの所謂アベノミクス効果により、前年度からの円高修正や株式市場の活性化が継続し、その結果、企業の業績改善とデフレ脱却の動きが見られました。

情報サービス産業におきましては、景気回復に伴い企業のIT投資に増加の動きがみられるなど、環境は回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは3か年中期経営計画2年目の計画達成に向け、積極的な受注活動を行うとともに、品質向上やプロジェクト管理の強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高につきましては、主力のシステムソリューションサービス事業が順調に推移したことにより、前年同期比増収となりました。また営業利益、経常利益につきましては、国内外の新設関連会社やM&Aで取得した会社などの経費増があったものの、稼働率の向上や採算性の向上により前年同期比増益となりました。なお四半期純利益につきましては、本社移転や不動産売却にかかる特別損失により、微減益となりました。

当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

売上高	19,594百万円（前年同期比12.1%増）
営業利益	2,243百万円（前年同期比13.1%増）
経常利益	2,340百万円（前年同期比14.2%増）
四半期純利益	1,072百万円（前年同期比 3.3%減）

セグメント別の業績は、以下のとおりとなりました。

#### ①システムソリューションサービス事業

- ・情報サービス事業（ソフトウェア開発事業とコンピュータ室運営管理事業）につきましては、企業のIT投資が堅調に推移したことにより、売上高は18,099百万円（前年同期比13.2%増）となりました。
- ・ソフトウェアプロダクト事業につきましては、売上高は652百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

#### ②人材派遣事業

- ・人材派遣に対する雇用環境は引き続き厳しく、売上高は638百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

#### ③不動産賃貸事業

- ・不動産賃貸事業の売上高は204百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### [資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比125百万円減少し、47,191百万円となりました。内、流動資産は1,113百万円減少の29,062百万円、固定資産は987百万円増加の18,128百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、商品及び製品が208百万円増加したものの、現金及び預金が971百万円、受取手形及び売掛金が339百万円減少したことなどによるものです。

固定資産増加の主な要因は、投資有価証券が113百万円減少したものの、有形固定資産が568百万円、のれんが507百万円増加したことなどによるものです。

#### [負債の状況]

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比683百万円増加し、5,769百万円となりました。

内、流動負債は866百万円増加の5,321百万円、固定負債は182百万円減少の448百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、その他流動負債が237百万円減少したものの、買掛金が206百万円、賞与引当金が807百万円増加したことなどによるものです。

固定負債減少の主な要因は長期借入金（従業員持株ESOP信託分）が170百万円減少したことなどによるものです。

#### [純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比809百万円減少し、41,421百万円となりました。

純資産減少の主な要因は、四半期純利益により1,072百万円、その他有価証券評価差額金が上場株式の時価回復などにより132百万円増加したものの、配当金支払いにより1,147百万円、自己株式取得などにより878百万円減少したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は、87.2%（前連結会計年度末は88.6%）となりました。

[連結キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、20,042百万円となり、前連結会計年度末比328百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、2,397百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,927百万円、賞与引当金の増加807百万円、売上債権の減少405百万円、仕入債務の増加206百万円などによる資金の増加と、法人税等の支払額788百万円、その他の流動負債の減少501百万円、未払消費税等の減少165百万円などによる資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、127百万円となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入3,840百万円、投資有価証券の売却による収入379百万円などによる資金の増加と、定期預金の預入による支出2,540百万円、有形固定資産の取得による支出430百万円、事業譲受による支出823百万円、敷金及び保証金の差入による支出250百万円などによる資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、2,210百万円となりました。

これは主に、自己株式（従業員持株ESOP信託分）の売却による収入121百万円などによる資金の増加と、配当金の支払額1,147百万円、自己株式の取得による支出1,000百万円、長期借入金（従業員持株ESOP信託分）の返済による支出166百万円などによる資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期における業績が順調に進捗していることから、平成25年5月9日に発表しました業績見通しに変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結会計期間において、株式会社NSDビジネスイノベーションを、また、当第2四半期連結会計期間において、当社全額出資の中国現地法人である北京仁本新動科技有限公司が日本国内に、日本RXテクノロジー株式会社を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率を用いて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、従来有形固定資産の減価償却方法については定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、情報サービス業界の「所有」から「利用」への動きが加速するなかで、本社移転決定を契機に当社グループの保有資産を見直した結果、長期的かつ安定的に使用される資産（ネットワーク関連設備、賃貸建物及びそれに付随するものなど）が大部分を占め、また、今後もクラウドビジネスなどサービス提供型ビジネスの拡大が見込まれており、当該資産の使用実態を踏まえると、減価償却費の期間配分を平準化できる定額法が、より経営の実態を適切に表していると判断できるためであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ31百万円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,094,600	21,122,648
受取手形及び売掛金	7,262,445	6,922,523
商品及び製品	28,567	237,201
原材料及び貯蔵品	2,916	5,241
その他	804,424	791,161
貸倒引当金	△16,780	△16,127
流動資産合計	30,176,174	29,062,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,834,022	4,034,129
土地	5,030,508	5,358,501
その他（純額）	299,881	340,258
有形固定資産合計	9,164,412	9,732,889
無形固定資産		
のれん	—	507,541
その他	249,774	248,525
無形固定資産合計	249,774	756,067
投資その他の資産		
投資有価証券	3,649,125	3,535,735
その他	4,087,897	4,114,293
貸倒引当金	△10,256	△10,306
投資その他の資産合計	7,726,767	7,639,721
固定資産合計	17,140,954	18,128,678
資産合計	47,317,129	47,191,325
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	625,673	831,925
1年内返済予定の長期借入金	332,000	336,000
未払法人税等	783,654	851,060
賞与引当金	395,054	1,202,529
役員賞与引当金	52,400	26,000
株主優待引当金	45,560	90,208
従業員給付信託損失引当金	41,000	41,000
その他	2,179,509	1,942,426
流動負債合計	4,454,852	5,321,150
固定負債		
長期借入金	170,000	—
退職給付引当金	403,268	393,065
その他	57,908	55,445
固定負債合計	631,177	448,510
負債合計	5,086,029	5,769,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,205,864	7,205,864
資本剰余金	6,892,184	6,892,192
利益剰余金	36,323,268	36,248,107
自己株式	△6,197,896	△7,076,133
株主資本合計	44,223,421	43,270,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,069	105,763
土地再評価差額金	△2,329,768	△2,329,768
為替換算調整勘定	74,186	91,928
その他の包括利益累計額合計	△2,282,651	△2,132,075
新株予約権	5,255	6,707
少数株主持分	285,073	277,002
純資産合計	42,231,099	41,421,664
負債純資産合計	47,317,129	47,191,325



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	17,486,474	19,594,162
売上原価	14,029,582	15,460,038
売上総利益	3,456,891	4,134,124
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	579,995	733,362
賞与引当金繰入額	61,740	68,226
役員賞与引当金繰入額	28,500	26,000
福利厚生費	142,597	209,900
賃借料	161,636	163,549
減価償却費	37,176	28,992
研究開発費	65,678	93,746
株主優待引当金繰入額	43,437	45,384
その他	352,312	521,229
販売費及び一般管理費合計	1,473,073	1,890,392
営業利益	1,983,818	2,243,732
営業外収益		
受取利息	28,999	44,204
受取配当金	67,066	42,050
その他	37,930	23,762
営業外収益合計	133,995	110,016
営業外費用		
為替差損	3,344	8,620
支払補償費	62,000	—
その他	2,237	4,499
営業外費用合計	67,582	13,120
経常利益	2,050,231	2,340,629
特別利益		
投資有価証券売却益	—	20,050
早期割増退職金等戻入益	—	9,810
特別利益合計	—	29,860
特別損失		
固定資産売却損	—	189,146
投資有価証券評価損	62,685	—
本社移転費用	—	252,125
減損損失	494	311
その他	6,080	1,002
特別損失合計	69,260	442,585
税金等調整前四半期純利益	1,980,971	1,927,904
法人税等	850,423	846,179
少数株主損益調整前四半期純利益	1,130,548	1,081,725
少数株主利益	21,586	9,228
四半期純利益	1,108,961	1,072,496

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,130,548	1,081,725
その他の包括利益		
<sub>  </sub> 其他有価証券評価差額金	△190,912	132,833
<sub>  </sub> 為替換算調整勘定	△18,778	17,741
<sub>  </sub> その他の包括利益合計	△209,690	150,575
四半期包括利益	920,857	1,232,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	899,270	1,223,072
少数株主に係る四半期包括利益	21,586	9,228

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,980,971	1,927,904
減価償却費	172,989	132,786
のれん償却額	—	26,712
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,622	△652
賞与引当金の増減額 (△は減少)	623,381	807,475
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,800	△26,400
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△23,737	—
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	43,437	44,648
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	281,484	△10,203
投資有価証券評価損益 (△は益)	62,685	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	189,146
受取利息及び受取配当金	△96,065	△86,254
売上債権の増減額 (△は増加)	1,594,652	405,992
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△88,823	8,468
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△92,599	10,335
その他投資等の増減額 (△は増加)	△3,120	137,892
仕入債務の増減額 (△は減少)	64,268	206,252
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,001	△165,702
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△70,280	△501,521
その他	28,739	△9,623
小計	4,442,559	3,097,256
利息及び配当金の受取額	116,578	87,336
法人税等の還付額	174	1,692
法人税等の支払額	△679,197	△788,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,880,114	2,397,347
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,540,000	△2,540,000
定期預金の払戻による収入	40,000	3,840,000
有価証券の償還による収入	1,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△126,402	△430,633
有形固定資産の売却による収入	203	123
無形固定資産の取得による支出	△46,579	△32,100
事業譲受による支出	—	△823,121
投資有価証券の取得による支出	—	△39,999
投資有価証券の売却による収入	—	379,831
投資有価証券の償還による収入	1,000,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△11	△250,710
その他	△35,542	23,991
投資活動によるキャッシュ・フロー	291,667	127,382

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△166,000	△166,000
配当金の支払額	△1,062,482	△1,147,658
自己株式の取得による支出	△81	△1,000,186
自己株式の売却による収入	189,678	121,957
その他	△15,291	△18,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,054,176	△2,210,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,618	13,508
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,097,987	328,047
現金及び現金同等物の期首残高	16,617,980	19,714,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,715,967	20,042,648

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システムソリューションサービス事業	人材派遣事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,582,358	689,122	214,994	17,486,474	—	17,486,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,237	202,217	11,262	214,717	△214,717	—
計	16,583,595	891,339	226,256	17,701,191	△214,717	17,486,474
セグメント利益	1,926,434	20,874	53,214	2,000,522	△16,704	1,983,818

(注) 1. セグメント利益の調整額△16,704千円には、セグメント間取引消去195千円、全社費用△16,899千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システムソリューションサービス事業	人材派遣事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,751,389	638,417	204,356	19,594,162	—	19,594,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	400	191,430	13,432	205,262	△205,262	—
計	18,751,789	829,847	217,788	19,799,425	△205,262	19,594,162
セグメント利益	2,155,208	25,596	77,850	2,258,655	△14,923	2,243,732

(注) 1. セグメント利益の調整額△14,923千円には、セグメント間取引消去195千円、全社費用△15,118千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「システムソリューションサービス事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が米国のBayer HealthCare LLCから、Viterion TeleHealthcare事業を譲り受けております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において538,845千円であります。